



2009年度
鳥取県町村議会
広報コンクール
優秀賞受賞

議会だより だいせん

21号
2010年7月発行



6
月
定
例
会

一般質問 あなたの声を町政に

10

本格稼働！農産加工施設

8

【議会報告会】その後…

7

みんなのひろば **声** 今回は活性化のアイデア

20

6月定例会

6

月定例議会は、6月11日から25日までの15日間の会期で開かれました。

初日には、森田町長が山香荘の食中毒事件に関して、謝罪の言葉と再発防止策を述べました。

人権擁護委員の選任に同意し、条例改正、平成22年度一般会計補正予算など14議案、議員発議の2議案もあわせて審議し、賛成多数で原案のとおり可決しました。
また、11人が一般質問をしました。

6月定例会の質疑一覧

続きは 3ページ

議会報告会で出た意見や要望は…

続きは 7ページ

今回から質問回数制限なし！ 一般質問は11人が…

続きは 10～19ページ

各常任委員会活動は…

続きは 4～6ページ

視察報告！

続きは 8・9ページ


みなさんからの陳情は…

続きは 19ページ

質疑

一般会計補正予算


大山北壁の水・保育所プロポーザル



問 【西尾議員】
①北壁の水の販売は。
②販売先の拡大は。
③プロポーザル参加謝礼140万円の内容は。

答 【福留観光商工課長】
①大山北壁の水は、観光PRの事業。従来は販売のみだったが配布もする。
約90000本作り、30000本はPR用、60000本は販売用。
【森田町長】
②販売したいという希望に応じている。
【高木幼児教育課長】
③参加業者7社を想定し各20万円、名和小の例に従っている。


小児用ヒブワクチン



問 【竹口議員】
①インフルエンザ菌B型ワクチン（ヒブワクチン）に助成する額と、見込み件数は。
②半額助成の根拠は。
③今までに受けたい人の申請は認めらるか。

答 【斎藤保健課長】
①1回あたり6000円ぐらいの費用で、その半分の3000円を助成する。接種率が50%程度と推定している。
②県内の市町村を参考にした。
③認めない。


【プロポーザル方式】業務の委託先や建築物の設計者を選定する複数の者に企画してもらい、すぐれた提案者を選定すること



学校給食 地産地消

問 【吉原議員】
①学校給食用食材地産地消支援事業交付金100万円の内容は。
②貸金に支出する効果は。

答 【林原学校教育課長】
①臨時職員の賃金にあてる予定。
②中山地区の地産地消率を上げるため、小中学校の栄養士を2人体制にしたい。




児童福祉費

問 【大森議員】
①児童福祉総務費の中の報償費謝礼金の内容は。
②児童福祉施設費の報償費謝礼金の内容は。


答 【高木幼児教育課長】
①放課後児童クラブの活動をサポートする人への謝礼。
【門脇人権推進課長】
①あすなる児童クラブも、放課後児童クラブと内容は同じ。
②3児童館の謝礼金は、絵本の読み聞かせ事業や、新規事業を行うための講師謝礼。

残土処理場・防疫・サッカーグラウンド



問 【野口議員】
①長野残土処理場跡地整備工事の内容は。
②家畜自衛防疫事業基金出資金の内容は。
③サッカーグラウンド調査委託料の内容は。


答 【中田住民生活課長】
①町が残土処理場を使用していた場所を、長野部落や個人に客土し返すもの。
【山下農林水産課長】
②以前からの出資が、組織再編で一時的に返ってきたので、改めて出資するもの。
【福留観光商工課長】
③簡易測量や概算事業費の積算をするもの。



漂着物・埋蔵文化財

問 【鹿島議員】
①漁港の漂着物処分は町全体が対象か。
②埋蔵文化財の発掘調査の場所は。

答 【山下農林水産課長】
①御崎、御来屋、平田漁港のみ。
【手島社会教育課長】
②大山寺方面で大きな民間の調査が入る予定。



コミュニティビジネス補助金

問 【岩井議員】
中山間地域コミュニティビジネススタートアップ支援事業補助金の内容は。

答 【福留観光商工課長】
今年度から鳥取県が創設した制度中山間地域での新規事業の開業に必要な経費を助成する。

6月定例会

質疑

委員会報告

特集

一般会計

総務常任委員会

6月15日・16日・23日の3日間、陳情1件の審査、所管の事務調査と現地審査を行いました。



新築等の申請

家

屋を新築したり、壊したりした時は、税務課

に届け出が必要。

税務課

職員を

国へ派遣

内

閣府本府行政実務研修制度があり、本町では4月1日から野川剛司主任を派遣している（任期2年）。国の業務を体験しながら資質の向上を図り、人脈を広げパイプ役として地域主権等の役割を果たすことが

目的。

大山町行政改革審議会（岩崎会長12人）では、町長の諮問を受け、第2次大山町行政改革大綱の策定及び集中改革プランの見直しを行っている。

総務課

集落の

健康診断

大

山町総合計画の前期基本計画は平成18年度から22年度で終了。

23年度から27年度の5か年間の後期基本計画の策定作業にとりかかる（総合計画審議会・松原慎一会長・20人）。

企画情報課

町民アンケートや満足度をふまえて、現在の計画を見直すもの。

住民自治の取り組みの一つとして集落の健康診断を行なっている。

6月末日で168集落のうち14集落が取り組んでいる。

遊休地等の

有効活用

平

平成20年6月定例議会で町有地等調査特別委員会が報告した事項をふまえて現地調査を行った。

現地視察

人輝くまち

人権推進課

小

地域懇談会、人権セミナー、推進者養成講座などを行う。外国人・アイヌの問題・ハンセン病等の課題の解決を図り、住みよいまちづくりの推進を広める。

	市町村名	一人当たり所得	総所得	人口
1	境港市	259万5000円	931億3300万円	3万5889人
2	米子市	256万2000円	3821億2900万円	14万9152人
3	鳥取市	251万円	5029億6200万円	20万0383人
4	倉吉市	237万7000円	1224億2000万円	5万1501人
5	伯耆町	233万8000円	281億7700万円	1万2051人
6	日吉津村	227万7000円	72億4500万円	3182人
7	智頭町	205万7000円	170億3200万円	8280人
8	岩美町	200万5000円	258億4300万円	1万2889人
9	琴浦町	198万9000円	378億200万円	1万9005人
10	三朝町	197万8000円	144億7900万円	7320人
11	大山町	195万2000円	359億5900万円	1万8421人
12	南部町	193万9000円	232億2200万円	1万1976人
13	湯梨浜町	190万5000円	331億1800万円	1万7385人
14	八頭町	190万2000円	363億6500万円	1万9119人
15	北栄町	183万1000円	289億5300万円	1万5813人
16	江府町	182万4000円	63億9600万円	3507人
17	日野町	181万1000円	73億400万円	4033人
18	若桜町	173万3000円	71億9300万円	4151人
19	日南町	149万2000円	86億2300万円	5779人
	合計	-	1兆4183億5500万円	59万9840人
	平均	236万4000円		

平成19年度所得調査 県統計資料による

教育民生常任委員会



6月15日・18日の2日間、陳情1件の審査、所管の事務調査と現地審査を行いました。

子ども手当

住民生活課

次

代の社会を担う子どもの健やかな育ちを応援する制度として始まった。所得制限はなく、子どもを養育している人に、0歳から中学校を卒業するまでの子ども1人につき、月額1

万3000円支給するものである。本町では、約378万円

でシステムを改め、6月末までに約4490万円支給している。

人づくり地域づくり

教育委員会

先

進的な公民館活性化モデルとして、事業が認められた。

その取り組みを実施している市町村の公民館に、上限20万円での補助100

%が支給されることとなった。また、大山寺僧坊跡の現地調査は、8月いっぱい

の予定。3次元の測量図面を作成し、今年度中に報告書を完成させる予定である。

予防接種費助成事業

保健課

保

健康生予防費、142万5000円計上。子どもの髄膜炎を予防するヒ

任意接種をする人の負担軽減を目的としたもの。かかりつけの小児科医での接種を想定。後払いとなる。

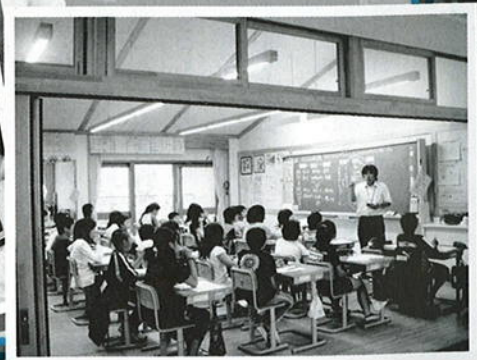
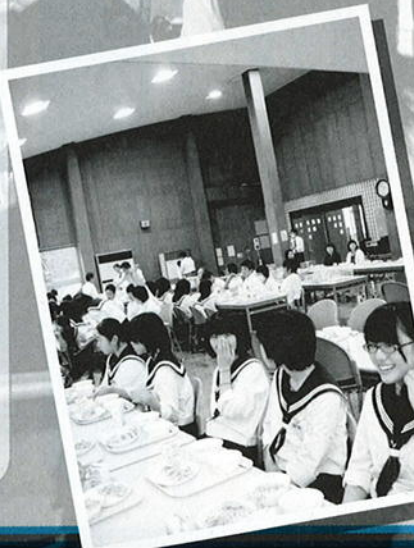
高齢者の在宅生活支援 福祉介護課

外

出支援事業は4月から、運営主体が社会福祉協議会から町へ変更となった。運転手がヘルパーでなくてもよくなる。

受け入れ体制の充実が図られている。緊急通報システムは、22

年1月から3月にかけてシステムを更新。火災警報器がセットとなり、通報は警備会社に行き、近所の協力者と警備員が必要に応じて急行するシステム。6月現在の利用者は、93人



経済建設常任委員会



6月15日・16日・23日の3日間、
陳情1件の審査と所管の事務調査を行いました。

料金が おかしい時は 水道課

偶

然の破損等によって水道料金が高額になった場合、使用水量について内規がある。
高額になる前数カ月の平均以上は、申請によって料金の差額を返還すると説明を受けた。
内容の仕訳が難しい、簿記（貸借対照表）の習得のために、職員研修費を予算化した。
名和处理場にJ Rコンテナ積み込みのとき、汚泥飛散防止のためのホッパーを新設する。

新しい 取り組みを 農業委員会

委

員会の透明性や活動を知ってもらうために、議事録の情報公開を進めていく。また、啓発・PRのため、農業委員会広報の発行に今年度初めて取り組む。

若者定住に 一役 建設課

中

山地区に建設した若者向け住宅の入居者募集が始まった。まだ満室にならないが、現地を視察して、夫婦と子供一人なら十分な間取りと感した。
高規格中山名和道路は当初0査定であったが予算が復活し文化財調査に取りかかる。
用地買収は98%、事業は約20%完了している。

間違っていた 農林水産課

取

り組みやすくなった中山間地域等直接支払交付金制度ではあるが、対象となる集落の67%、76集落の申し込みとなつている。中には他の制度の農地・水・環境保全国上に係る交付金のみにする集落もある。
県道豊房御来屋線沿い東坪
地内に設置したカラスの檻が、許可を得た人とは別の地権者の土地に間違つて設置した。
そのため、この土地を町が購入することになり、補正予算に計上された（215㎡/6万5000円）。設置時の確認を要望した。

山香荘は どうなるの 観光商工課

食

中毒・無許可営業と問題を起こした山香荘は、その他にも消防法、水質汚濁防止法・労働基準法などの法令違反も判明した。現在再開に必要最小限の施設修繕を実施している。
食中毒になった人との示談交渉は、おおむね理解いただいた。

陳情審査

富

岡集落から出された町道拡幅の陳情は、交通量を考慮するものか、児童の通学時の安全を確保するものか、富岡区長に内容を聞いた。話の中で山陰道の大山・名和インターまでの延長によって交通量は減っている。
また、時間規制の変更により通学時の安全は確保されそうとのこと。陳情の趣旨は理解できるものの、町内通学路の優先順位・予算等を考慮し、審議の結果全会一致で不採択とした。
なお、急を要する児童の安全対策は関係課に要請した。

議会 報告会

どげんあった？

意見・要望のその後

4月10日、議会報告会を開催しました。
参加者からの「提言等」を町長に伝えて回答を得ると約束しました。
多数の項目がありました
が、次の事項の要旨をお知らせします。

名和駅舎と駐輪場

町長の回答

6月2日に名和駅舎と駐輪場の清掃、不法投棄物・放置自転車・ごみ等の撤去を行った。
今後は、防犯パトロール等でチェックする予定。

大山診療所の今後は

町長の回答

1階の外来診療所は固定医による安定した診療形態のもとで継続したい。
2階は民間の活力も期待しながら、今年度内に活用方法を具体化したい。

行政と住民の対話の場

町長の回答

町長の出前座談会や「集落の健康診断」に取り組んで対話を進めている。
また、町政全般について住民との意見交換会を検討している。

窓口・担当者を明確に

町長の回答

住民からの意志・提案・疑問・不満などを聞くために「行政目安箱」を設けている。
役場業務担当窓口・担当者は町報に掲載している。

大山口駅付近の交通安全

町長の回答

朝の通勤通学時には危険な状態であるが通行量は減少している。
通学路を走行する車両等のドライバーに交通安全意識の啓発を図りたい。

大山口駅と町営駐車場

町長の回答

駅舎・トイレ・駐輪場は清掃を委託。毎週1回程度行う。
無料駐車場は、マナー違反の車はない。5月に町営駐車場ができ、児童通学時の交通も改善。

町内の公共交通は

町長の回答

平成23年の運行開始を目指して、5月10日に第1回大山地域公共交通会議を行った。今後は、町内全域の公共交通体系の見直し案を9月下旬に作成予定。

公用車の アイドリングストップ

町長の回答

信号待ちをのぞく、待機中及び車から離れる時は、すでにアイドリングストップを推進している。

農産物処理加工施設 「手づくり工房 大山恵みの里」へ ～6月15日、全議員で視察～

農 産物処理加工施設は、3月26日に完成し、4月1日より(財)大山恵みの里公社が、町内産の原材料を活用した加工食品の開発を進めてきました。加工品は、野菜処理という当初の方針を変更して、レトルト食品や冷凍食品です。

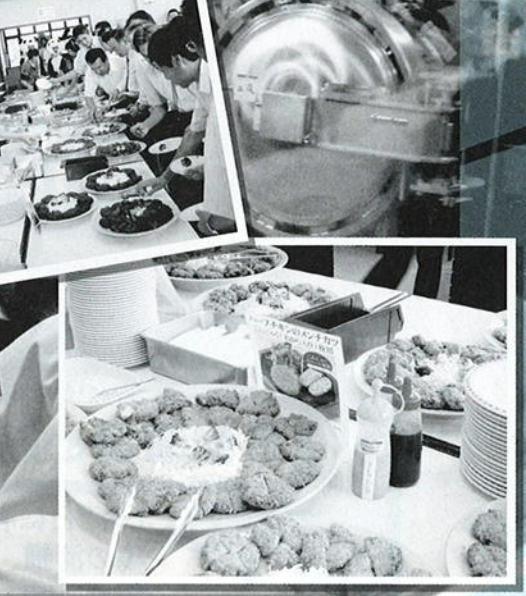
施設工場内は、原材料の搬入から製造・出荷まで一連の流れとして配置されています。

製造機器は最新鋭のもので、米子・大山地区の食品加工施設としては屈指の施設だそうです。

短期間での品目の開発や、デリケートな衛生管理など、当事者でないといわからない苦労があるようです。

7月7日には試食会があり、同17日には本格販売が開始されます。道の駅「大山恵みの里」で食事や購入することができます。

みなさんもぜひ食べてみてはいかがでしょうか。



視察メモ

製造する商品

カレー、豚丼、牛丼、ハンバーグ、メンチカツ、コロッケ、ぎょうざ、シュウマイなど

話題の施設を視察！ ～若者向け住宅～

入居のお問い合わせは？
建設課 0859-53-3186

中 山地区に完成した若者向け住宅を、6月定例会中に全議員で視察しました。

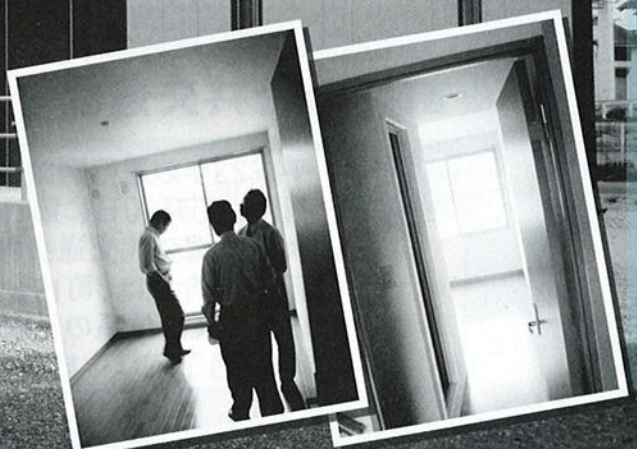
この町営住宅は、若者の定住を促進するために建設され、最大で8世帯が入居できます。

視察では、担当者に現状を聞きながら、今後の定住策の議論を深めました。

視察メモ

若者向け住宅の詳細

- 間取り：1DK
- 入居できる年齢：39歳以下
- 入居できる期間：5年
- 家賃：2万円
- 敷金：家賃の3カ月分
- 保証人：2人



総務常任委員会 視察研修

視察日 7月13日～15日

【視察地】

1. 島根県邑南町
2. 広島県安芸高田市
3. 島根県海士町

【視察の目的】

大山町は少子高齢化により、地域コミュニティの再構築が必要となっている。住民主体の地域づくり、および行財政改革の先進的な事例を調査し、本町の政策づくりに役立てる。

島根県邑南町の阿須那地区は、39集落のうち6割が限界集落と、深刻な過疎化が進んでいる。「YUTAか」プロジェクトは平成20年から始まり、棚田オーナー制度や地酒を活かした、都市部との交流などの取り組み。

メンバーも高齢者が多いが、県の補助金活用で、活動を支えるマネージャーを雇用し、若者も巻き込んで活動している。活動を地域全体に広げていくことが課題で、県の補助が終了した後も、町で支援していく考え。

Y
U
T
A
か
プ
ロ
ジ
エ
ク
ト

広島県安芸高田市の、中山間地域19集落で構成する川根地域は、過去に豪雨で被害を受け「自分らでできることは自分らの手で」と、地域の課題を地域で解決している。5000人以上集まる「ほたるまつり」の開催や、独居老人宅への訪問活動、住民出資の商店の経営などを、地域住民が行っている。市は川根振興協議会をモデルに、32の地域振興組織を設立。集落を越えた区域での自治機能の確保に取り組んでいる。

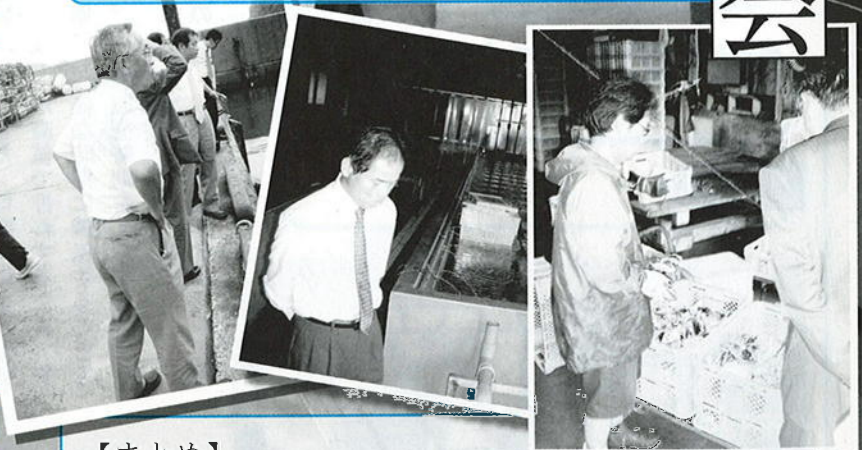
川根振興協議会



隠岐諸島海士町

隠岐諸島の海士町は、人口25000人弱で単独町政を貫いている。財政がひっ迫した平成17年には「身を削らない改革は支持されない」という町長の信念で、三役の給料50%40%カットなど、人件費削減

を行った。できた財源は、サザエや隠岐牛などの資源を活かす施策に使った。戦略的な地域経営の結果、平成16年以降で、156世帯257人のIターン者を受け入れている。



【まとめ】

若者が流出し、地域社会の維持が困難になる中、財政はますます厳しい。

地域を守るため住民の自治意識をいかに育むか。そのために、行政・議会・住民は、何をすべきか。

活かしきれていない豊富な資源を抱える本町も、真剣に議論しなければならない時期にきている。

一般質問

あなたの声を町政に



池田満正 議員

あきれた山香荘の看板

町長 ▶ 活用策の中で整備



山香荘の古い看板

問

名和、中山、大山が合併し5年以上たった。

しかし、神田山香荘の案内看板には、いまだに名和町と表記されている。

また、ペンキが落ちて文字が読めない状態で立てられている。

①この状態のままではいいのか。撤去したら新しい看板を立てるのか。

②旧名和町の看板を大山町と書き換えずに使用している。山香荘に来るお客さんを、大切に心がけてはいなかったか。

③行政は無理、無駄、ム

答

森田町長

ラのない職場でないといけない。行政のトップとして職員をどう指導するのか。

①敷地内にある案内看板は1基を撤去、もう1基は全面張り替え。道路沿線は文字の修正を予定。

②やらなければならぬことを、着実にやるのが大切。指摘の点もふまえて取り組みを進めたいと思っている。

③職員として、基本的なことをしっかりとやり、無理無駄のない職場にする。公務員として基本を大切に、今後、研修に取り組みたい。

問

恵みの里公社の中に生産者部会が作られ、今後の活動などが話し合われた。

その会の中で、農産物処理加工施設の質問があった。

どのような物を製造するのか、原料となる農産物は何かなど、公社職員は農産物処理加工施設の稼働や、作る商品まで説明をした。

ところがその内容は、担当課長が議会の常任委員会に報告する内容と食い違いがあった。

農産物処理加工施設の原状を明らかにするために、次のことをたずねます。

①農産物処理加工施設の本格稼働はいつになるか。

②6月に本格稼働できなかった理由は何か。

③現在製造している商品は何か。

④問屋を通して販売する商品は何か。



米本隆記 議員

答

森田町長

⑤ ①②のことが、今年度の農産物処理加工施設の計画に影響を及ぼさないか。

⑥担当課の説明と公社職員の発言が食い違っていたがなぜか。

①7月中旬

②運営加工に必要なことや、注文時の販売体制の整備など、解決しなければならぬ問題が多くあった。

また、口蹄疫により原料が高値で推移するため、安価な時期に確保することも販売時期をずらす要因になった。

③鶏肉製品5品、牛肉製

品5品、豚丼、野菜カレーの12品目。

④前述の商品すべてが該当。重量や入り数の変更で対応する。

⑤多少の影響は懸念している。

不十分な体制で商品を販売する方が、消費者への信頼を含め、はるかに大きなリスクを負うことになる。



商品の試食会(7月7日)

発言のずれは？

町長 ▶

多少の行き違い

⑥いづれかの説明不足が勘違いをもたらしたと思う行政、公社とも表現が誤解を得るようではいけない。今後そのようなことがないように、いっそう連携を取っていく。



杉谷洋一 議員

阿弥陀川の河川敷整備を早く

町長

県に要望している

問 近年は、想定外の集中豪雨により、全国各地で大きな被害が発生している。

本町の大名橋付近でも、河川敷の雑草や雑木が増え続け、流木が川をせき止めて氾濫するなど、大きな被害が予想される。

しかし、現在は荒れ放題になり、子どもの自然観察や町民の憩いの場としての川との触れ合いができなくなっている。

①雑草や雑木の管理はどのようにするのか。
②河川の景観保全は。



阿弥陀川に繁茂する雑木

答 森田町長

①集中豪雨は、県内でも平成19年9月に琴浦町と本町の一部地域で発生した。被災を受けたこともあり、防災強化の重要性を再認識している。

阿弥陀川河川敷地内に繁茂している雑木・雑草は、毎年、河川管理者である鳥取県へ要望し、大名橋から下流方向の河川に隣接する集落から、順次行っている。

②憩いの場としての整備は、地域と町が一体となり、知恵を絞り構想を練ることから始める。

その上で河川管理者である県へ要望していきたい。

問 全国学力・学習状況調査で何が得られ

る学力結果と生活状況には相関関係があるという過去の分析結果を、本町の教育に反映されたのか。

答 伊澤教育委員長

学力向上検討委員会を設け、学力調査結果と生活状況等の調査結果を分析した。

その結果をもとに、保護者や地域の人と連携し、生活習慣や体験を通して、学力向上に努めている。

本町の学力は、本県の結果と同様に、全国の中でも比較的高いレベルに

位置している。

また、あいさつを自主的にに行っていると肯定的に答えた小学生の学力は、国語・算数の知識や活用能力も非常に高い結果が出ている。

各学校では、「家庭学習の手引き」を作成したり、家庭学習時間調べを行ったり、授業と関連づけた課題やプリントを家庭に配布し、家庭学習の習慣化を図っている。また、親子の対話時間を増やしたり、食事を一緒に食べる機会を増やしたりするなど、家庭学習も含めて規則正しい生活ができるように取り組んでいる。

学力・学習状況調査で何が得られたか？

教育委員長

分析をし生かしている



あいさつができる子は学力も高い

仁王堂公園のよりよい整備を

町長

維持管理を徹底する

問

遊園地には近隣の小学校や保育園の遠足で訪れたり、休日には多くの家族連れが訪れたり、年々、利用者が増加の一途をたどっている。

グラウンドゴルフ場では各種大会が開催され、愛好者がゴルフを楽しんでいる。

子どもたちが安心して遊べる親子の触れ合いの場として、更なる充実が必要な施設である。

この施設は、今後どのように維持管理し、充実させるのか。

①遊具の点検は。
②子どもカラス天狗の新設は。



利用者が多い仁王堂公園

答 森田町長

③便所や屋根付き休憩施設の増設は。

①安全確保のための修繕をし、年1回の保守点検委託や、月1回の町職員での点検を行っている。今後も町民の憩いの場として、楽しんでもらえるよう維持管理を徹底したい。

②今後の仁王堂公園を考る中で参考にしたい。

③一時的に利用者が集中するときは不便をかけるが、現状のまましたい。



吉原美智恵議員

集落の健康診断は？

町長 呼びかけを続けていく



あなたの集落も健康診断を

問

今年度の目玉施策として、住民自治組織の取り組みが、具体的な作業に入っている。「集落の健康診断」は168集落のうち、18の集落が終わった。広報だいせんのアンケートによると、この事業の満足度は50%、重要度も60%と低い。今のように、希望する集落へ出向く方法でよいのか。

答

森田町長

「集落の健康診断」は、住民の認識がまだ低いという理解はしている。

町民の視点に立ったまちづくりの中で、集落に軸足を置いて、まちづくりにつなげていこうと考えている。

集落のことを自分たちで守り、積極的な意志表示ができるよう、呼びかけていく。

問

本町では、今年3月に食育推進計画が策定された。

食の大切さや、健康な体をつくる重要さを子どもに教えるためには、保護者や地域のひととの連携が必要である。具体的な進め方は、また、給食で地元食材を積極的に取り入れていく仕組みは。

答 伊澤教育委員長

子どもが、食の正しい知識と習慣を身につけら

れるよう、積極的に取り組んでいる。

具体的には、朝食の大切さや、給食で栄養・食の安全・食事のマナーを子どもと保護者に伝える。

また、食材への理解を深めるため、農作業体験も取り入れている。

地産地消は、県の「学校給食用地産地消支援事業」を活用し、8月から、地元産品の仕入れに取り組む。

食育の取り組みは？

教育委員長 積極的に進めている



名和中学校のランチルーム

問

子宮けいがんは、20〜30代の女性に一番多いがんである。ウィルス感染が原因と

子宮けいがんの予防は？

町長 慎重に検討する



中学生からワクチン接種を

答

森田町長

され、ワクチンが日本で接種できるようになった。海外では、100以上の国で接種されているが、予防接種には、4〜5万円という高額な費用がかかる。大切な母体を守るために、助成の仕組みは。

このワクチンは国が勧める「定期接種」ではなく「任意接種」であり、積極的な接種は勧められておらず、慎重に検討していく。



小原力三 議員

松くい虫防除 談合疑惑の影響は？

空中散布は
無事に実施できた

町長



松の保全是大切な事業

問

①農林水産大臣は談合問題に火を付けただけで、その後は何も言わないが、どう考えるか。
②県は不都合なことを市町村に押し付けているように感じるがどうか。
③松くい虫防除は、これからも随意契約か。

答
森田町長

①本町にはその後の経過連絡がきていない。そのため、詳細はわからない。
しかし、指導改善の最中で、結論はまだ出ていないと思う。
②平成16年に県で農

薬もれの事故があり、県は空中散布を中止した。しかし、県も松を守る必要があるので、市町村が主体の補助事業にしている。県からの指導もあり、財政面も変わらないが、事務量が增大している。
③山を守るため、そうしたい。

問

①大山診療所は、変則的な外来診療で継続されている。住民が望む地域医療は、近くに入院施設や介護施設があることだと考えるがどうか。

答
森田町長

②施設のリースや売却も検討が必要では。

①2階を入院施設にするには、24時間体制の医師と看護師が必要で非現実的。

福祉介護施設としての利用は可能性がある。より有意義な利用方法の研究をし、平成23年4月の運営開始を目標に進めていきたい。
②固定医確保にこだわらないような検討も必要。

大山診療所の 活用策は？

町長

入院施設にこだわらない



2階が利用されていない大山診療所



西尾寿博 議員

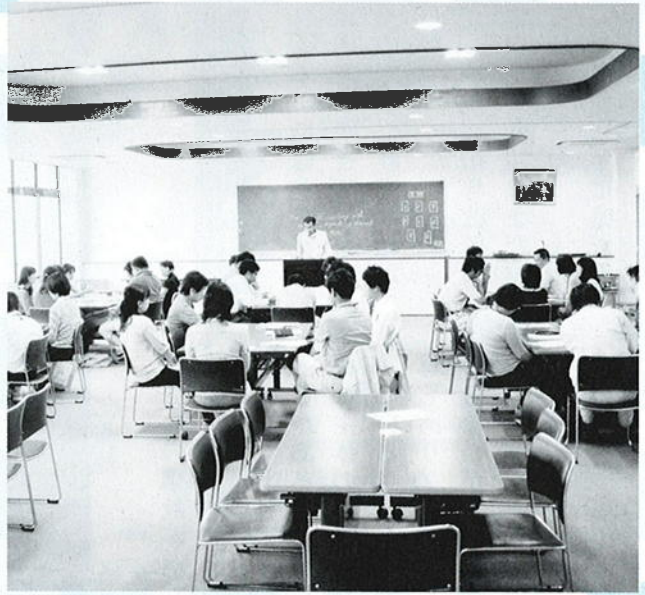
さまざまな問題の解決策は？

町長 再発防止の具体策を検討

問 ごみ袋の収入金紛失問題、中毒患者が出て無許可営業が発覚した山香荘問題は、職員同士の信頼関係が失われた結果ではないのか。

やり方が違っていた3町が合併し、上司のやり方に不満を持ちながら、仕事をしている職員もいるのではないか。

これらの問題は、管理者だけの責任ではない。



6月18日に開かれた職員研修

リスク管理を共有することが、事件をなくす考えではないのか。

また、責任が重い課長になりたくない職員が全国的にいると聞くが、課長と課長補佐の明確な違いは。

答 森田町長

管理職で構成のプロジェクトチームが再発防止の具体策を検討している。合併後、一課当たりの職員数が多くなり、管理監督業務が増えた。今後、組織の見直しも

研究テーマと考えている。

【小西副町長】

「わたしたちの行動基準」を5回に分け、全職員を対象に研修会を行っている。今後、接遇研修も計画している。

【押村総務課長】

課長職の職階級は5級と6級、課長補佐は4級。管理職手当は課長が3万5000円、課長補佐が2万5000円。両職とも、残業手当はない。また、課長補佐は労働組合員で課長は非組合員。

堆肥センターはできるか？

町長 進めていきたい



黒字経営の伯耆町堆肥センター

問 堆肥センターは、水分調整剤の確保、悪臭公害、建設費用等の問題をクリアすることが大事。

①その進み具合は。

②町内にある団体所有の堆肥センターは利用可能か。

答 森田町長

①畜産廃棄物処理問題等もあわせ、農協や関係機関と検討会を立ち上げ、良質な有機堆肥の供給体制を作りたい。

②その施設は補助事業

で建てているので、堆肥センターだけ利用することになると、難しいのではないかと。

畜産団地の利用の仕方が大きなポイント。相手側の状況を把握し進めてみたい。



野口昌作 議員

汗入農免交差点の 安全対策を

県道交差点を除き
汗入農免は優先道路

町長

問

①汗入農免農道は着工から20年以上経過し、中山地区から名和地区につながった。しかし、安全面で見直すべき交差点がある。農道はいつから、町の管理に
なっているか。

②事故が起きないように、交差点規制などを検討したか。また、現在も検討を重ねているか。

③いつ頃を目安に利用



整備された一時停止の交差点

者の安全を考えた交通安全対策を行うか。

④関係区長と協議ができていたのであれば、町道往吉萩原線の、報国の南交差点で対策を早急にするべきでは。

答

森田町長

①県道下市高橋停車場線の東側は平成19年度に、西側は平成21年度に管理協定を締結している。

②従来から交通安全指導員や集落との協議をしながら、対策を行ってきた。

③平成22年度に汗入・大名・佐摩農道がつながる。完成後の23年度からは、県道交差点を除き、農免農道を優先する。

④できるだけ早くしたいと思うが、警察、公安委員会と協議をしなければならぬ。

問

宮崎県で家畜伝染病の口蹄疫が

発生し、非常事態となっている。本県では、6月11日に初動対応を確認したと報道された。①初動対応の話合いをしているか。また、どのような内容か。②実際に口蹄疫が発生した時の問題点は。③これまで町が行った対策は。また、今後の対策として考えていることは。

答

森田町長

①5月27日に西部家畜保健衛生所と、町の対応を確認した。また、6月11日に県のマニュアルが提示された。

本町では、平成20年に作成した「大山町の高病原性鳥インフルエンザ初動対応マニュアル」を参考に、マニュアルの作成を進める。なお、5月25日に大

山町家畜伝染病対策協議会を開催している。

②実際に口蹄疫が発生した場合、家畜の死体等をうめる場所の確保が問題。基本的には、畜産農家の土地でうめることになる。

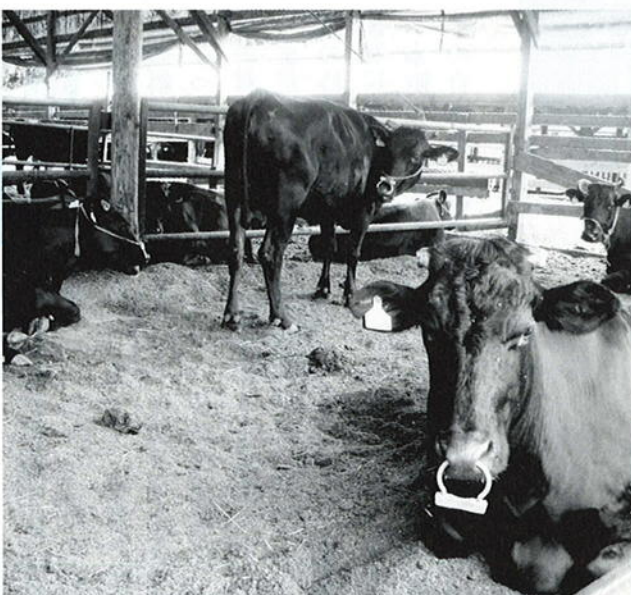
③防災無線や大山町チャンネルで周知し、町単独で消石灰の配付を行った。

早急に初動対応マニュアルを作成して、不測の事態に備えたい。

口蹄疫の 初動対応は？

町長

県と町で役割を分担



口蹄疫の初動対応は万全か



椎木学 議員

転作率の達成と米の所得保障

町長 過去の経緯と現状は重い

問

米の戸別保障制度は、転作割り当て面積を達成し、米の生産数量目標を守った場合にのみ支給対象になる。

しかし、転作率を守らず、全面積を水稻作付けをした場合でも、補償支払い対象になっているのではと、多くの農家から不満を聞いています。

水田農家の皆さん！
自給率向上のための新しい
に参加しましょう。

戸別所得補償モデル対策からスタートします。

加入申し込み・支払時期

受け取るためには、加入申込書、交付申請書などの提出が必要です。交付金は、国から農業者が指定した口座に直接申し込みは4月～6月、交付金の支払いは、12月～3月に

加入申込書	交付申請書
交付金受取口座指定書	交付金支払
交付金支払	(12月～3月)

給率向上事業 (水田稲作生産力向上型)

上のために水田で麦・大豆・米粉用米・飼料用米などを販売し、販路開拓の皆さんに、主食用米と同等の所得水準の支援を行います。

作物	3,5万円
大豆(100kg)	4,0万円
大豆(200kg)	7,0万円

米のモデル事業 (水田稲作生産力向上型)

自給率向上のための環境整備を図るために、米の生産に資する販売農家・生産者の皆さんに対して米の作付面積10アール当たり1万円を定額交付し、米の価格が下落した場合には、追加の補償も行います。

交付単価(全国一律)	1.5万円
定額部分(107-5当たり)	(従来のコスト削減型部分)
変動部分	22年度の販売価格が、過去3年の販売(107-5当たり) 値にその差額を基に算定

不公平感のない補償を

ている。

また、戸別保障制度は個人であるが、転作割り当ては、旧町単位集落単位で異なる割り当てである。

さらに、戸別の希望合計結果が、全町の目標を達成していれば、戸別間の不平等は関係ないと聞いている。今後この方法でよいのか。

答

森田町長

米の戸別保障制度は、

生産数量目標にあわせて農家が対象。

戸別の生産数量目標の配分割り当ても可能だが、本町の水田農業推進協議会は、過去の経緯や現状をふまえ、集落への配分を行って

いる。しかし、実際には、戸別の積み上げを集落配分としている。

次年度以降の対応は、全町一律の提案も理解できるが、各地区の過去の経緯も考えたい。

問

過疎法により、本町のほぼ全域が、中山間地域等直接支払制度の対象になった。

また、農産物価格の低迷、農業従事者の高齢化で、施設の維持管理が困難になっている。制度の担当者を増やし、加入促進をするべきだと考えるがどうか。

答

森田町長

過疎地域の指定を受け、緩傾斜地も制度の対象となったため、本町全域が対象になった。

また今回は、集落の持続的なサポート体制に交付金が出る。本町の課題も、担手の育成や、耕作放棄

地の拡大防止である。

これらの取り組みによって、集落のサポート体制ができると思う。6月15日現在、対象111集落の中で75集落が取り組む予定。

また、この事業の担当者を旧町単位で各1人の、3人に増員をして支援をしている。

中山間支拓制度の加入促進を

町長

制度の担当者を3人に



持続可能なサポート体制を



大森正治 議員

子育て医療費助成の拡充を

町長

拡充は困難

問 本町では子育て支援策の一つとして、中学校卒業まで一部負担金を除く医療費の全額助成を行っている。

これによって、2分の1補助だった前年度に比べ利用者が1.5倍に増え、保護者から喜ばれている。

本町で子育てする喜びを実感してもらうために、この助成事業を

さらに拡充していくことは重要で意義あると考える。

① 現行の申請方式から、資格証を窓口提示する方式に改善したらどうか。

小学校入学前までの特別医療費はそうしているのだから可能はずではないのか。

② 現行の一部負担金(通院1回530円、入院1日1200円)をゼロにして、完全全額助成したらどうか。財政負担はわずかで可能ではないのか。



子どもの特別医療費受給資格証

答 森田町長

① 利用者の利便性を図るため、検討したことがある。

町単独で行うには、医師会や医療機関、各保険者と契約の必要があるため困難。

また、国民健康保険団体連合会は対応できないとのことだ。現実的に困難である。

② 適正な受診で制度を維持するため、ある程度の負担は必要。自己負担額は妥当な範囲内。

住宅リフォーム助成を

町長

研究・検討したい



リフォーム助成で地方経済の活性化を

問

長引く不況の下で、地域経済は疲弊した状態が続いている。こうした状態から早く抜け出すために、自治体の支援は急務。

その一つとして、住宅リフォーム助成制度の創設を提案したい。

この助成制度は、個人が住宅のリフォームをする場合、地元業者への発注を条件として、リフォーム代の一部を自治体が補助する制度である。

県内では琴浦町がこ

の制度を導入し、リフォーム工事費の10%、上限10万円を補助している。昨年4月から開始以来、5月19日現在で191件、1380万円を助成。その経済効果は3億1000万円で助成額の22倍。

今年3月現在で全国の154自治体がこの制度を実施し、10カ月で1.8倍に増加している。

地域経済を活性化し、住民にも喜ばれるこの制度は本町でも導入す

答 森田町長

る価値は十分あると考えるがどうか。

住宅リフォームの需要を生み出し、地元小規模業者に限定することで、地域経済の活性化になると思った。

町内だけで通貨が流通する制度は、検討に値する。

制度導入は、財政事情や公平性を考え、研究と検討をしたい。

若者向け住宅はこれで良いのか？

町長 不評ではないと思っている



竹口大紀 議員



まだ空室がある若者向け住宅

問

①若者向け住宅は、5月末で定員の半分の4世帯しか入居がない。何が原因だと考えているか。

【町長】通勤に時間がかかり、敬遠されていると推測。
②満室にするために、何に力を入れるつもりか。
【町長】宣伝し、I・Uター

③今後、町営住宅は、公設民営などの新しい方法を検討しないのか。
【町長】指定管理よりも町営で進めていく。

④入居には町内の別世帯で2名の保証人が必要という条件だが、本当に町外や県外からのI・Uターンを考えているのか。

【池本建設課長】I・Uター

⑤若者限定ではなく、定年退職した人の定住促進にも活用できないか。
【町長】若者の定住が大き

問

①議会の会議録を確認すると、前教育長が平成18年の12月議会で「特別天然記念物のオオサンショウウオは、可能ならば施設を設置」と答弁をしているが、現状と今後は。

【伊澤教育委員長】経過で、施設は実現困難となったが、現地で観察する自然観察会に取り組んできた。今後は、生態の紹介や観察の機会を作り、郷土の財産としたい。

政委員会。教育長の交代で方針が変わることはない。

③特別天然記念物は、観光や教育でオリジナリティを出せる存在であるが、どう考えるか。

【伊澤教育委員長】オオサンショウウオは自然環境の豊かさを示すシンボル。子どもをはじめ、町民に広く認識してもらえるよう努力したい。

②町長や教育長の交代で、職員が進めてよいか迷う事業は他にはないのか。

【伊澤教育委員長】教育委員会は首長から独立した行

④同じ観光資源で他町に遅れをとるのは、致命的じゃないか。

【町長】大きな観察施設を作ることは考えていない。

教育長の交代で止まっている事業は？

教育委員長 交代で方針は変わらない



町の特徴を生かした教育を

子育て支援を積極的にすべきでは？

町長 消極的ではない



ヒブワクチンを接種する幼児

問

①髄膜炎予防の小児用ヒブワクチンは、1回あたり3000円が助成されることになった。この助成の町長の理念は。

【町長】子育て支援の一環。元気で安心なまちづくりが理念。

②髄膜炎は60%がヒブ、30%は肺炎球菌が原因。なぜ肺炎球菌ワクチンを助成の対象に含めなかったのか。

【町長】全国で2市町しか助成していないから。国や県の動きなどを見て判断したい。

③なぜ、全国に先がけてその2市町が助成を決めたと思うか。
【町長】その自治体が判断したものだ。

④その理由をどう推測するかという質問だが。
【町長】推測できない。

⑤おそらく子育て支援を充実させたい市と町。農産品だけが大山ブランドではなく、子育て支援の充実も自治体のブランド。子育てしやすい町を目指す考えは。
【町長】子育て支援は、すでに力を入れている。

⑥子どもに選択肢がないからこそ、自治体で助成する必要があると思うが。
【町長】慎重に検討したい。

⑦県の医療費助成が始まれば、毎年300万円程度の財源ができ、助成できる。
【町長】提案は、今後の検討材料や参考意見にしたいと思う。



岩井美保子議員

町民の思いが届いているか

町長

すべてが町民に直結する仕事だと思っている



職員との連携は大切

①あっといいう間の1年であつた。担当者と思見を交換し、精査をしながら町政

答 森田町長

問 ①町政の一年間をふりかえった感想は。②職員との連携はできてるか。③課長の権限、また、責任はどのようになってるか。

を進めてきた。国の経済対策交付金事業では、早い経済波及効果を考えて取り組めたことがよかつた。②行政執行では、職員との連携が重要。課題を共有し、連携を深めながら進めている。③課長は「大山町事務決裁規則」により、事務処理に關しての決裁事項が細かに定めてある。

この規則は、町長の権限に属する事務を、能率的に処理するためにある。また、これは課長に権限を移譲するものではなく、意志決定を早くすることを目的とするもの。課長に権限はないものと考えている。課長の責任は、指導監督が適正でない場合に問われると考えている。

みなさんからの陳情はこうなりました

6月定例議会で審査した陳情は、次のとおりです。

陳情の件名	陳情者等	委員会の意見	付託委員会名	審査結果
道路拡幅に関する陳情	大山町富岡 区長 塩谷保雄	陳情の趣旨は理解できるものの、急を要する児童の通学時の安全確保は、通行時間帯の交通規制で確保することができる。今回の道路拡幅の陳情は、不採択と決した。	経済建設 常任委員会	不採択 採択に賛成8人
年金受給資格期間の25年から10年への短縮を求める陳情	全日本年金者組合 鳥取県西部支部 支部長 増田修治	納付が困難な人には減免制度もあり、減免期間も納付期間に算入されている。また、25年に満たない人には、2年間の救済措置もある。年金制度の財政状況を考慮し、10年への短縮は困難である。全会一致で不採択と決した。	総務 常任委員会	不採択 採択に賛成1人
保育制度改革に関する意見書提出を求める陳情	自治労連鳥取県本部 執行委員長 植谷和則	子どもたちが健やかに育つためには、国と地方自治体の責任が明記された児童福祉法第24条に基づく保育制度が堅持されることが重要であり、保育予算の増額と、地方自治体の保育施策の拡充が必要。賛成多数で採択と決した。	教育民生 常任委員会	採択 賛成10人 (意見書提出)

声

みんなのひろば

高齢者パワー

我が集落を見回す者にできること。何と年金暮らしの人たちが多いと思う。例えは、庭の草取り、気が持者が蔓延、退職がなく、高齢者も多かった。修繕、ちよこつとした片付け、討課題は多いと思うが、人生を送る人も多い。家庭菜園の手伝い、等々。このような仕組みが、高齢者能力を利用し、構築できれば、町の活性化に大きく貢献するのではないかと思う。

私の提案は、高齢者の利用時に還元される。思う。

一部は楽しみ気分

危険度の問題、病

象にする事象など検

討課題は多いと思うが

このような仕組みが

構築できれば、町の

活性化に大きく貢献

するのではないかと

思う。

無臭にんにく栽培

食べ物の機能は3つあり、
①栄養となること
②食事による、満足があること
③体が正常になる機能があること

私は、10年来無臭にんにくを栽培しているが、実に美味しいし、臭みが少ないから朝から多くの量を食べる。

美味しいから味付けの必要がなく減塩にもなる。

にんにく成分だけによるとは思わないが、お陰で元気に暮らししている。

最近私の得た知識の中で『にんにくが野菜の王様』であることを知った。野菜の機能性を三

角形で表現すると、頂点ににんにくだけがある。

マスコミでは、健康志向から野菜の機能性を取り上げた報道や商品が多い。

砂丘ラッキョウならぬ「大山にんにく」を誰かが試験栽培されてもいいのではないかと思う。

大山町活性化のアイデア

下嶋 和子 (坊領)

次号の表紙写真を募集中!

(写真のテーマ) 秋をイメージしたもの
(大きさ) A4縦で鮮明に印刷ができる大きさ
(その他) 編集の都合上、デジタルデータのご提供をお願いいたします。

ご応募の詳細は、議会事務局に
お問い合わせください。(TEL) 0859-54-5213

募集

声をおよせください。

(テーマ) 大山町活性化のアイデア
(題) 10字以内
(文字数) 250~300字程度
(明記するもの) 住所・氏名・年齢・電話番号

(はがき送付先) 〒689-3211 大山町御来屋328
(FAX送信先) 0859-54-5213
(電子メール) gikai@daisen.jp

募集

あとがき

前回の議会だより20号から、議会の広報委員会で作成をしています。

それまでは、委員会で記事を作り、印刷会社にデータ作成を依頼していました。

これにより、パソコンで記事を自由に編集し、グラフや写真を自在にレイアウトできるようになりました。

議会だよりは、中学生にも理解できるように、読みやすいものを目指しています。

あなたの声で、より読みやすい広報に仕上げるができますので、ぜひ、ご意見やご感想をお聞かせください。

竹口

- 《発行責任者》
議長 野口 俊明
- 《広報委員会》
委員長 竹口 大紀
副委員長 大森 正治
委員 西山富三郎
委員 池田 満正
委員 杉谷 洋一
委員 米本 隆記

議会だよりのご感想をお聞かせください!

☎ 0859-54-5213

✉ gikai@daisen.jp